

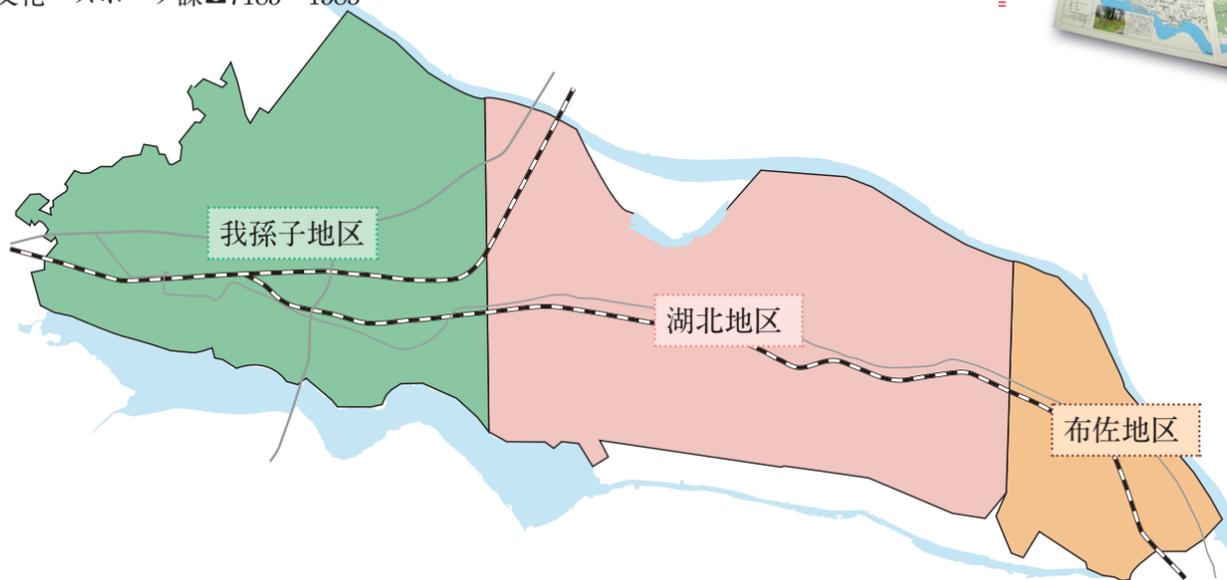
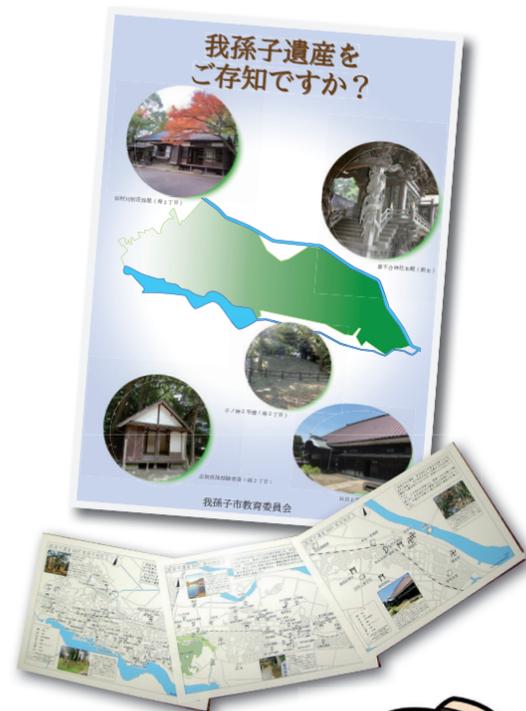
我孫子遺産パンフレットを作成！ ～地域の我孫子遺産を知ろう～

市内には、寺社・遺跡・石碑・祭り・伝承・自然など、地域の歴史・文化を語る上で大切な「モノ」たちが残されています。中には指定文化財となっておらず、存続が危ぶまれるものも数多くあります。

市では、指定・未指定にかかわらず「我孫子遺産」として文化財を次世代に継承するため、令和2年度に「我孫子市文化財保存活用地域計画」を策定しました。

今回、市民の皆さんに地域の我孫子遺産を知ってもらうためのパンフレット【我孫子エリア版】【湖北エリア版】【布佐エリア版】を作成しました。教育委員会文化・スポーツ課のほか、杉村楚人冠記念館、白樺文学館、旧村川別荘、旧井上家住宅など市の文化財施設で配布しています(市ホームページ(QRコード参照)からダウンロード可)。各地域でおなじみの場所もあれば、知らなかった場所もあるかもしれません。ぜひこの機会に訪れてみてください。

☎ 教育委員会文化・スポーツ課 ☎7185-1583



我孫子地区

古墳時代は手賀沼や利根川に面して多くの古墳が築かれ、江戸時代には水戸街道沿いの街として栄えました。近代に鉄道が開通すると、白樺派をはじめとする文人たちが訪れ、手賀沼沿岸には「別荘地我孫子」に関連する我孫子遺産が数多く残っています。

市指定文化財

旧杉村楚人冠邸(緑2の5の5)

ジャーナリスト・杉村楚人冠の邸宅。和洋折衷の母屋は関東大震災を機に建てられ、楚人冠の防災意識が見て取れます。現在は記念館として一般開放しています。



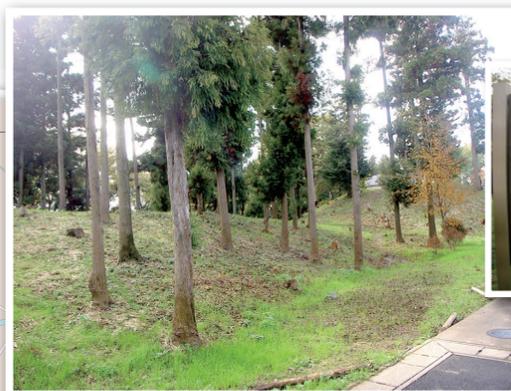
3月中旬ごろから見事なツバキが楽しめます▶



県指定文化財

水神山古墳(高野山439)

4世紀末ごろの古墳です。東葛地域最大の規模を誇り、手賀沼を一望できる最高の立地に築かれています。



バーナード・リーチ碑(緑1の11の24)

イギリスの陶芸家・リーチは、大正時代に柳宗悦邸(三樹荘)に築窯し、作陶に打ち込みました。この碑はリーチを顕彰して設立され、碑文には東洋・西洋の融合を試みたリーチの理想が示されています。

